

平素は、弊社商品にお取り組み頂き、
まことに、ありがとうございます。
月間通信 3月号をお送り致しました。
何卒、よろしくお願い致します。



半年掛かりで作ったピザ窯です。このエリアの土留めの石組から、地均しを始めたのが、昨年のお盆頃でしたので、まことに長い旅路だった。毎週土曜日に朝から高槻を出発して昼過ぎに着き、それから翌日の最終のフェリーに乗るまでの間、せっせとレンガを積んだ。レンガは 2500 個くらい購入し半分程度残っている。耐火レンガは 700 個ほど購入し、ほとんど消化した。

you tube で動画を探して、モデルを決め、何度かその動画を見て、設計図も無しに始めたので、途中辻褄が合わなくて、やり直したりしながら、何とか完成した。直系 30cm くらいのピザなら、4~5 枚は一度に

焼けそう。薬膳に興味のある方を此処にお誘いして、一緒に遊ぶために始めた事業です。



どうせなら、ピザ原料も自前で用意したいので、まずは小麦を植える事を始めている。北海道で栽培されている『春よ恋』でいつもパンを焼いているため、その品種を植えたかったのですが、小豆島は適地では無いという事で、それに類する品種『ミナミノカオリ』を中澤が選んだ。

元肥には、菜種油粕を 7 種類の菌で発酵させたベビーリーフの栽培をしている時に使っていた肥料を施肥しておいた。2 度の麦踏みを終え、そろそろ追肥のタイミングだと思う。上手く分決してくれているようですが、なんせ初めての栽培なので、様子が分からない。今になって農研機構の栽培レシピを調べてみると、元肥窒素量 5kg~6.7kg、追肥 3.5kg~5.0kg と書いてある。元肥は勘で施肥したが、計算上 5.7kg とバッチリ。追肥も同程度と考えていたが、その 3 分の 2 程度で良さそうなので、前回 3 袋の施肥だから追肥は 2 袋を散布すればいいのかなと思っている。

近くに大きな樹がある。地上 5m ほどで切っているが、また伸びて来て日陰になる時間帯・部分もあるので、光合成促進になるようなアルコール資材でも葉面散布を、様子を見てしようと考えている。

論語では、六十を過ぎれば、ひとの話しに耳を順わ

せられるようになり、七十になれば『七十にして己の欲する所に従えども矩を踰えず』とあった。私は再来月で 69 歳になる。最近になって、ようやく人の話しに躊躇なく乗れるようになってきた。50 歳の初めに、その次の七十を知ったとき、自分には余程広い道が用意されていなければ、ボーダーラインを越えてしまうと思っていたが、何となく、これも最近になって自信が出て来た (笑)。とても不思議な感じ。こんな我が儘者でも、それなりにはなれるのだから、若い皆さんは自信を持たれて大丈夫と思う。

何を言っているかと言うと、勘で施肥しても『当たらずしも遠からず』だったと言いたただけだが。すいません。

のんきなことを言っているが、巷では『露国がウクライナに攻め込んだ』と第三次世界大戦でも勃発するかのような騒ぎをしている。相変わらずテレビは喧しい騒ぎ方をしている。そんな事になる訳がない。米国も露国も、どちらも核を保有しているので、核を持っている国同士は戦争しないという不文律がある。人間は其処迄馬鹿ではない。騒ぎに乗せられている人間が馬鹿なだけだ。

今、世界を席卷している、コロナウイルスも、地球温暖化もすべてひとつの方向に進むための方策である。そうであれば、その他の世界で起こるすべての事も、その方向を標榜している事になる。それは世界統一国家の建設になる。世界帝国と言ってもいいかも知れない。それは、従来の英国や米国の一極支配ではない。世界を三分割して、南北米国大陸、露国・中華・インドに至るユーラシア大陸、欧州から南下してアフリカ大陸、このみっつのグループに分ける話しは、今から随分前のヒラリー・クリントンが国務長官していた時代に、発表していた内容だから、その内その様になるんだと思っていた。

そのように考えると、其処に至る為に現在から、何が必要かという話しである。それには、ふたつの主権を奪う必要があり、すべてが其処に結びつく出来事が、今後起こり続ける。

決められたその日まで。

そして、その日は 2025 年。

ひとつは、国民から自由を奪う事。既に自由は奪われていて、その事に対して国民は何の不満も感じていなくて、淡々と受け入れている。

羽田空港からトヨタのレンタカー事務所に移動する車中、もちろん私はマスクなどしていない。空港の中でも、飛行機の中でもマスクをしないで済む方法を見出したから。ひとり私たち以外に先客が乗っていた。凡そ 10 分でレンタカー事務所に着いた。ところが事務所は 2 階でエレベーターに乗らなければならない。その先客に続いてエレベーターに入った瞬間『マスクして頂けませんか』と溜息交じりにその男性は、吐き出すように言った。ずと車中でもその様に言いたかったのだろう。『失礼しました、では私は階段で行きます』と降りた。嘘を信じれば不自由になり、嘘を見抜いても不自由になっている。

もうひとつは、まさしく国家の主権を奪う事。国家主権を制限しなければ、世界政府は成立しない。コロナの対応は、日本政府に WHO から対策の要請が入って来ており、その事に対してウイルスの拡散そのものへの施策より、要請の内容に対して自らの馘が飛ばないように、或いは次の選挙を睨んで自分の立場を優位に宣伝できるように、と考えながらしているところを見て面白い。

トヨタ自動車は当初、石油は未だ千年以上は枯渇する事がない事を知っていて、電気自動車の開発には消極的だった。でも、『脱炭素』はそんな事実と無関係に動いていると気づき、急ぎ対応を始めた。

今回ウクライナの出来事で困っているのは、原子力発電迄止めてしまっている欧州だ。露国から天然ガスが入って来ない米国の経済制裁という指示に従わなければならない。露国は何も困らない、2月4日習近平との会談で、天然ガスも穀物も中国が買ってくれる約束を取り付けている。後、3年の経過措置で終わる。

有限会社アルファー

吉田清一郎